

栄養・食糧科学研究連絡委員会・
予防医学研究連絡委員会
報告

21 世紀における人間栄養学の構築と
栄養学専攻大学院及び栄養専門職大学院の
在り方について

平成 15 年 7 月 15 日

栄養・食糧科学研究連絡委員会
予防医学研究連絡委員会

この報告は、第18期日本学術会議栄養・食糧科学研究連絡委員会、予防医学研究連絡委員会で審議した結果をとりまとめて発表するものである。

・ 栄養・食糧科学研究連絡委員会

(栄養・食糧科学研究領域 30 学術団体、代表者 10 名からなる委員会)

安本教傳* 梶山女学園大学生生活科学部教授・研究科長、京都大学名誉教授 (* 委員長)

小林修平 和洋女子大学家政学部教授

佐々木堯 文部科学省開放的融合研究総括責任者

清水 誠 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

中澤裕之 星薬科大学薬学部教授

西川善之 甲子園大学栄養学部教授

野口 忠 中部大学応用生物学部教授・学部長、東京大学名誉教授

畑江敬子 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授

伏木 亨 京都大学大学院農学研究科教授

渡邊道子 高崎健康福祉大学教授

・ 予防医学研究連絡委員会

(予防医学研究領域 49 学術団体、代表者 8 名からなる委員会)

田中平三* 独立行政法人国立健康・栄養研究所理事長、東京医科歯科大学名誉教授 (* 委員長)

相澤好治 北里大学医学部教授

荒川泰行 日本大学医学部教授

上畑鉄之丞 聖徳大学人文学部教授

大原啓志 高知医科大学教授

下光輝一 東京医科大学教授

高野 陽 東洋英和女学院大学教授

伊達ちぐさ 武庫川女子大学生生活環境学部教授

・ 報告書ワーキンググループ委員会 (栄養学大学院構想検討委員会。

栄養・食糧科学研究連絡委員会と予防医学研究連絡委員会において検討する報告案を作成されるために委嘱された委員会)

奥 恒行*,** 県立長崎シーボルト大学看護栄養学部教授 (* 委員長)

池本真二** 城西大学薬学部教授

清水 誠 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

伊達ちぐさ** 武庫川女子大学生活環境学部教授
伏木 亨 京都大学大学院農学研究科教授
藤田美明** 川崎医療福祉大学医療技術学部教授
山田和彦** 独立行政法人国立健康・栄養研究所食品表示分析・規格研究部長
渡邊道子 高崎健康福祉大学教授
(**日本栄養改善学会栄養学専門大学院構想検討委員会委員)

報告書要旨

21世紀における栄養学は、学際的、俯瞰的人間栄養学でなければならない。家庭・学校・地域・職域の場での健康増進と生活習慣病の一次予防に対する栄養実践活動、臨床医学の場での栄養マネジメント、食品・外食・給食産業での栄養管理と経営管理・安全管理等には、医学、食品科学のみならず社会学、経営学、行動科学、食品工学等の学識と技能が必要不可欠である。このような人間栄養学の研究者、教育者、高度専門職業人に対する社会的ニーズは非常に大きい。

1. 栄養学大学院設置の必要性とその社会的背景

わが国における栄養学系大学院は、主として家政学系私立大学並びに一部の公立大学に設置され、国立大学には1校が設置されているにすぎない。これらの大学院は、現代社会が要求する高い学力レベルと高度の知識・技能をもった栄養学の専門家や実践家を育成する役割を必ずしも十分に果たしていない。

わが国は超高齢化社会を迎えつつある。そのような時代の保健・医療・福祉・介護の領域では、高度に専門化された知識と洗練された技能を修得し、俯瞰的な視野に立ってマクロ的に対処できる人材を育成することが焦眉の急務となっている。医学、看護学、薬学など保健・医療・福祉・介護の分野においては、これらの要求に応えられる人材育成のプログラムがすでに編成され、大学院教育においてその専門性を高めるとともに、それぞれの分野の研究者・教育者育成が展開されている。

これに対し、栄養学分野における高度な専門知識並びに技能を修得した高度専門職業人の育成、俯瞰的な視野に立って栄養問題の解決を図る人間栄養学研究者・教育者の育成は、著しく立ち遅れている。これはわが国で有能な栄養学研究者・教育者や高度専門職業人を育成する教育システムと教育環境が整備されてこなかったことに起因している。

近年、国民の健康づくりの中で生活習慣病の一次予防に大きなウェイトがかけられ、人間栄養学における高度な専門知識と技能を持った専門職業人の出現が期待されている。しかしながら、分子細胞生物学・医学・農学に関連した基礎研究に取り組む研究者は多いが、人間栄養学を意識した研究・教育や実践に興味を示す研究者・教育者は極めて少ないのが現状である。人間栄養学に特化した大学院を設置し、高い

意識を持った先駆的指導者の育成が急がれる所以である。

以上のように栄養学の関わる社会的背景を考えたとき、医学・農学の基礎と応用面を取り込み、さらに社会学的、行動科学的な専門性を取り入れて、先進的な栄養学大学院、すなわち、栄養学専攻大学院及び高度専門職業人の養成にあたる栄養専門職大学院を設置する意義は大きく、その必要性は極めて高い。

2．栄養学専攻大学院の概要

栄養学専攻大学院は、研究者・教育者の養成に主眼を置き、博士前期課程は、専門性のより高い人間栄養学の研究者・教育者を養成するための前段階とし、博士後期課程進学が前提となる。本大学院進学者としては、管理栄養士養成課程の卒業者、管理栄養士・栄養士等の資格は持っていないが栄養学を中心とした健康科学に対して高い意識と強い関心を持った大学卒業者並びにそれらの関係業務に従事している社会人が想定される。特に、人間栄養学に関心のある優秀な人材を確保するために、高いレベルの基礎学力を備えたさまざまな分野の学部卒業者が入学できる大学院にする必要がある。栄養学専攻大学院では、社会人の入学を受け入れるものでなければならない。

管理栄養士養成施設における専門科目担当者の資格に管理栄養士またはそれと同等の能力を有する者であることが条件付けられているので、栄養学専攻大学院を修了した者は管理栄養士養成施設の教育スタッフとして参画できるように、特別の配慮をすべきである。

一方、後述の栄養専門職大学院修士課程修了後に栄養学専攻大学院博士後期課程に進学できる道も開いて置かなければならない。

3．栄養専門職大学院の概要

栄養専門職大学院は管理栄養士を対象とした高度専門職業人養成に主眼を置いたものとし、現場において専門性が発揮できるように教育内容に配慮する。特に、栄養専門職大学院では、在職したまま履修できる社会人入学制度を設けて、門戸を広く開放する必要がある。

さらに、管理栄養士養成課程以外の学部・学科等から栄養専門職大学院に進学した者については、所要の単位取得によって管理栄養士国家試験受験資格を付与することを検討しなければならない。当然のことながら、国家試験受験資格を付与するためには、それに必要な科目を履修する必要があるので、これを希望する者の修業年限は通常の修士課程修了に必要な年限に更に1年を加える必要がある。

4 . 栄養学大学院の構築と既存大学院との関係

栄養学専門の大学院を設置するにあたっては、医学や農学等既存の大学院とは距離をおいた、人間栄養学研究科とするのが新しい学術体系を構築する上で効果的である。設備、人材、経費などを考慮すると、大学院の構築は研究・教育環境の整った既存の大学に基幹大学院を設置し、国公立大学や国公立研究所・試験機関、独立行政法人試験・研究機関等における栄養学分野の研究者を大学院兼担スタッフとし、大学院の研究・教育に広く参画できるシステムとすることが必要であろう。しかし、国立大学には管理栄養士養成課程が1校にしか設置されていないこと、医学部には栄養学関連講座がないこと等を考えると、既存の他の大学の中から、大学院人間栄養学研究科が生まれてくる可能性は非常に低い。したがって、既存の大学から独立させた栄養学大学院の大学を設置することも考慮する必要がある。

第18期日本学術会議

栄養・食糧科学研究連絡委員会・

予防医学研究連絡委員会

報告

21世紀における人間栄養学の構築と 栄養学専攻大学院及び栄養専門職大学院の 在り方について

目次

1 .はじめに	1
2 .栄養学大学院の理念	2
1) 栄養学大学院設置の必要性和社会的背景	2
2) 栄養学大学院設置の目的	4
1 管理栄養士養成施設の教育スタッフの養成	
2 臨床栄養スペシャリストの養成	
保健・医療・福祉・介護の領域における栄養管理者の育成	
国際協力に貢献できる栄養専門家の養成	
3) 栄養専門職大学院の考え方と設置の必要性	6
4) わが国における特化大学院の設置現況	6
3 . 栄養学大学院の具体的構想	7
1) 栄養学専攻大学院の基本構想と考え方	8
2) 栄養専門職大学院の基本構想と考え方	8
3) 栄養学専攻大学院博士前期・後期課程の構成	10
4) 栄養学大学院進学の対象者	10
5) 栄養学大学院研究科の構成	11
(1) 研究科名	
(2) 専攻名と大講座の構成	
4 . まとめ	11

資料

1 専門職大学院制度の目的	12
2 専門職大学院制度の内容と構成	12
3 わが国における栄養士・管理栄養士養成の現況	13
4 わが国における栄養学系大学院の設置現況	15
5 海外における栄養学系大学院ならびに医療従事者等に対する栄養学 再教育の現況	16
6 栄養学大学院研究科の構成の具体例	18
栄養科学専攻	
医療栄養学専攻	
栄養政策学専攻	
7 教育・研究等スタッフ	19
(1) 研究科専任スタッフ	
(2) 栄養学研究者・教育者の兼任スタッフ	